

平成 28 年（2016 年）9 月 20 日

「学認クラウド 導入支援サービス」の正式提供を開始

大学・研究機関のクラウド利活用拡大を促進

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所（NII、所長：喜連川 優、東京都千代田区）は本日9月20日、大学・研究機関におけるクラウドの利活用拡大を促進する「学認クラウド 導入支援サービス」の正式提供を開始しました。

「学認クラウド 導入支援サービス」は、クラウドサービスを導入する大学・研究機関とクラウドサービスを提供する事業者の双方に参加していただけるサービスです。NIIは大学・研究機関がクラウドサービスを導入する際に確認すべき事項のリスト（チェックリスト）を策定し、このチェックリストに基づいて各クラウド事業者のサービス内容を調査、検証します。クラウドサービス導入を検討している大学・研究機関には、この結果を提供します。また、研究・教育分野におけるクラウドサービスの具体的な利用方法などの情報も体系的に提供していきます。一方、NIIがクラウドサービスに対する大学・研究機関のニーズを把握してクラウド事業者と共有し、大学・研究機関向けのクラウドサービスが拡充されるように働きかけていきます。

学認クラウド 導入支援サービス GakuNin Cloud

- 仕様策定
- クラウドの調達

- チェックリスト回答の検証
- 個別相談の実施 など

- 大学・研究機関向け商品の提案



- チェックリスト回答の参照
- 個別相談の実施
- スタートアップガイドの参照
- クラウド利活用セミナーへの参加
- その他（情報共有、ワークショップなど）

太字は参加機関のみ利用可能なサービス

- 大学・研究機関へチェックリスト回答提供
- 大学・研究機関のニーズ把握
- その他（情報共有、ワークショップなど）

すべて参加事業者のみ利用可能なサービス

【「学認クラウド 導入支援サービス」開始の背景】

クラウドは迅速性や柔軟性、経済性、さらに運用負担の軽減といった点で大学・研究機関においても期待が高まっており、利活用も進みつつあります。しかし、現時点では大学・研究機関がクラウドサービスを利用する上で必要となる情報や知識、ノウハウの蓄積が不足しており、同時に、大学・研究機関に向けたクラウドサービス商品の普及がこれからであることも課題となっています。「学認クラウド 導入支援サービス」は、こうした課題を解決することで大学・研究機関におけるクラウドサービスの導入と利活用を推進し、クラウドを活用した高度な学術情報基盤を整備することを目的としています。このため、NIIでは今回の「学認クラウド 導入支援サービス」の正式提供に向け、実証実験^(*)を通じて大学・研究機関、クラウドサービス事業者双方の意見を聴取してきました。

【今後の取り組み】

NIIでは従来、「学術情報ネットワーク」(Science Information NETwork: SINET)において民間の学術向けクラウドサービスとの直接接続環境を提供し、クラウドを大学・研究機関におけるICT基盤として効果的に利活用できるよう支援してきました。今後、クラウド利活用の一層の促進に向けて、NIIではクラウドサービス事業者の協力を幅広く得ながら、大学・研究機関がクラウドサービスを活用してゆくための情報や知識、ノウハウを蓄積し、大学・研究機関のクラウドサービスの導入や利活用の支援に活かしていきます。また、セミナーの開催など、クラウドサービスの導入・利用促進のための啓発活動も実施していきます。参加機関、参加事業者間で情報交換ができるような機会も設ける予定です。今後1年間で、「学認クラウド 導入支援サービス」に大学・研究機関100機関の参加を目指します。

【「学認クラウド 導入支援サービス」への参加】

本サービスの規程や参加の申し込みについては、以下のページをご参照下さい。

<http://cloud.gakunin.jp/form/>

NIIは「学認クラウド 導入支援サービス」提供などの取り組みを通じて、大学・研究機関における、よりイノベーティブな研究や教育の実現と管理運営業務の高度化・効率化の促進に寄与してまいります。

以上

(*) 実証実験： 大学や大学共同利用機関など 14 のクラウド利用機関と 15 のクラウドサービス事業者、NII が参加して、平成 27 年 (2015 年) 9 月～平成 28 年 (2016 年) 3 月に実施。